

1 情報教育の取組について

1 はじめに

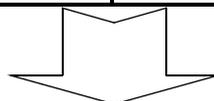
市情報教育研究の各部会は、平成19年度より始まり、本市の ICT 活用の中心として活動してきている。情報モラル教育研究部会では、昨年度に作成・配布した情報モラル啓発リーフレットをリニューアルし、全児童・生徒に配布し活用を図った。また新たに保護者用の資料（リーフレット）も作成し、全保護者への啓発を行った。けやきネット活用研究部会においては、これまで蓄積してきた授業に役立つコンテンツの活用促進を進めてきた。教職員の校務の負担軽減を目指した教育情報化支援事務部会においても継続して研究を進め、各校共通の名簿様式を作成した。

今後とも「情報教育推進計画」に基づいて活動し、児童生徒が情報を主体的に選択・活用できる能力を育むとともに、特に情報モラルの育成に力を入れるために教職員の ICT 活用指導力の向上に取り組む予定である。また、教職員の校務の負担軽減のためにも、教育の情報化をさらに推進したい。

2 下野市情報教育推進計画（平成27年度）

○ 基本方針及び研究推進の方向性

(1-①③) 情報モラル教育の計画的推進	(1-②) PC活用技能の習得強化
<p>◎情報モラルに関する授業の実践(授業公開)</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報モラル育成資料の活用（市として活用しやすい内容への見直し） 情報モラル教育実践ガイダンスの活用 <p>○啓発リーフレット（指導資料）の活用</p> <p>◎各校での情報モラル教育の推進</p>	<p>○ PC 操作時間確保の工夫（年計の確認・見直し：市で行ったものを参考に）</p> <p>※小学校中学年で文字入力などの基本的な操作を身につける。</p> <p>※小学校高学年で情報モラルを身につける。</p> <p>※中学校で情報活用能力を身につける。</p>
(2) ICT機器の活用による授業実践	(3-①) 校務処理の電子化への取組
<p>○日常的な ICT 機器の活用実践</p> <ul style="list-style-type: none"> PC, 電子黒板, デジタルテレビ, デジカメ, プロジェクター, 実物投影機, タブレット等 <p>※特に電子黒板と実物投影機の活用。</p> <p>◎これまで蓄積してきたコンテンツの紹介と活用促進・事例収集（コンテンツの整理）</p>	<p>○指導要録抄本の電子化研究（小学校）</p> <p>○すぐメールの活用促進</p> <p>○事務手続き関連「たすかるくん」の活用</p> <p>○ WinBird の成績処理システムの運用研究</p>
(3-①) 市教育情報ネットワーク（けやきネット）の効果的活用	(3-②) セキュリティの確保
<p>○校務支援ソフト（WinBird）の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 連絡板, 掲示板, メッセージ等の活用 児童名簿管理の活用 各種テンプレートの活用等 <p>※学校代表アカウントⅡには、テンプレート作成の権限を与えてあります。（情報教育担当者が管理してください。）</p> <p>○ホームページの更新（Web コア）</p>	<p>○ガイドライン等の周知・徹底</p> <p>○情報漏洩の防止</p> <p>○保存データのバックアップについて（特に画像・映像の保管について）</p> <p>○サーバーの管理</p>



情報モラル教育研究部会	けやきネット活用研究部会	教育情報化支援事務部会
<p>○情報モラルに関する授業の実践（授業公開）</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報モラル育成資料の活用 <p>○啓発リーフレット（指導資料）の活用（児童生徒用および保護者用）</p> <ul style="list-style-type: none"> 啓発資料の印刷・配布 <p>○情報モラル教育の推進</p>	<p>○ WinBird の活用促進</p> <ol style="list-style-type: none"> 校務合理化の研究 すぐメールの活用 活用方法の紹介 蓄積してきたコンテンツの紹介・活用促進 <p>○学校 HP 更新アドバイス</p>	<p>○学校事務情報の共有化推進</p> <p>○学校間格差のない事務処理の研究</p> <p>○下野市小中学校児童生徒名簿統一様式作成</p>

2 各部会の取組

1 けやきネット活用研究部会

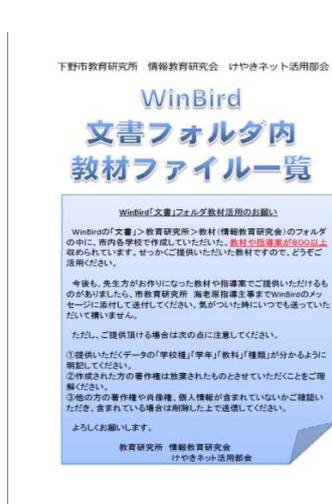
(1) 研究テーマ

けやきネットを活用した「教育の情報化」の推進

(2) 研究内容

けやきネット上に蓄積されている学習教材の掘り起こしと、教職員への周知

けやきネットのサーバー上には、数年前にけやきネット活用研究部会で編さんした、授業で使える指導案やワークシートなどの学習教材が蓄積されている。人事異動で他市町から下野市に赴任し、その存在を知らない教職員やその存在を忘れてしまい活用の機会を逃してしまっている教職員が多いと考えられる。他市町に誇れる立派な情報資産を掘り起こし、授業に生かすことにより、日々の教育活動の一助になればと思い、研究内容に設定した。



番号	学校種	学年	教科	種類	ファイル名	登録日時	データ量
1	小学校	1年	音楽	ワークシート	音楽鑑賞ノート(低学年).jtd	2009/5/29	20KB
2	小学校	1年	学活	ワークシート	あったかことばワークシート.doc	2010/2/2	25KB
3	小学校	1年	学活	ワークシート	あったかことば検定用.doc	2010/2/2	30KB
4	小学校	1年	学活	ワークシート	学級会ノート低学年用.xls	2009/6/3	27KB
5	小学校	1年	学活	ワークシート	学級会の進め方カード(低).doc	2009/6/3	44KB
6	小学校	1年	学活	指導案	気持ちのよいあいさつバージョンアップ.jtd	2010/2/4	33KB
7	小学校	1年	学活	ワークシート	課題提案カード(低).doc	2009/6/3	33KB
8	小学校	1年	学活	ワークシート	1行日記.jtd	2009/5/29	222KB
9	小学校	1年	国語	ワークシート	かたかな(ワークシート).jtd	2009/6/3	118KB
10	小学校	1年	国語	ワークシート	かたかな(ワークシート)「かたかなのかたち」.jtd	2009/6/3	141KB
11	小学校	1年	国語	ワークシート	カタカナテスト1年.jtd	2009/5/29	41KB
12	小学校	1年	国語	ワークシート	カタカナの表.pdf	2010/2/2	380KB
13	小学校	1年	国語	ワークシート	テスト(車仮名の書き).jtd	2010/2/2	32KB
14	小学校	1年	国語	ワークシート	は・ま・へのぶんづくり1.doc	2010/2/2	24KB
15	小学校	1年	国語	ワークシート	は・ま・へのぶんづくり2.doc	2010/2/2	24KB
16	小学校	1年	国語	ワークシート	ひらがなれんしゅうたんざく.jtd	2009/6/3	20KB
17	小学校	1年	国語	ワークシート	一から十の練習(いくつ).jtd	2009/6/3	37KB
18	小学校	1年	国語	ワークシート	一から十の練習(こ).jtd	2009/6/3	38KB
19	小学校	1年	国語	ワークシート	一から十の練習(にん).jtd	2009/6/3	38KB
20	小学校	1年	国語	ワークシート	一から十の練習(ひき).jtd	2009/6/3	37KB
21	小学校	1年	国語	ワークシート	一から十の練習(ぼん).jtd	2009/6/3	37KB
22	小学校	1年	国語	ワークシート	一から十の練習(まい).jtd	2009/6/3	37KB
23	小学校	1年	国語	ワークシート	一から十の練習.jtd	2009/6/3	40KB
24	小学校	1年	国語	ワークシート	音読カード(10月).doc	2010/2/2	146KB
25	小学校	1年	国語	ワークシート	音読カード(11月).doc	2010/2/2	197KB
26	小学校	1年	国語	ワークシート	音読カード(12月).doc	2010/2/2	167KB
27	小学校	1年	国語	ワークシート	音読カード(1月).doc	2010/2/2	112KB
28	小学校	1年	国語	ワークシート	音読カード(2月).doc	2010/2/2	85KB
29	小学校	1年	国語	ワークシート	音読カード(3月).doc	2010/2/2	56KB
30	小学校	1年	国語	ワークシート	音読カード(6月).doc	2010/2/3	58KB

- ◇各校の情報担当職員に協力を呼びかけ、教材ファイル一覧の回覧や利用手順の説明などの利用促進活動を依頼した。
- ◇このテーマに取り組んで2年目になるが、まだ活用状況は十分であるとは言えない。また、詳しく見てみると登録されているデータは、2009～2010年の頃のもものが大半を占め、近年の最新情報についてはほとんど登録されていない状況であることが分かった。
- ◇上記の事から、利用促進と並行して最新情報のアップロードも必要であると考えた。そこで各校の情報教育担当者がデータを保存できるフォルダをWinBird上に作成した。それぞれの学校で行われた研究授業やS&Uコラボの指導案、ワークシート等を登録し、授業に活用できるようにしたい。

(3) 次年度に向けて

「使いたいときにすぐに手に入る」「簡単にアップロードできる」環境を整えていくことが、データベースの新規登録や利用の活性化を図る上で非常に重要なポイントとなってくる。利用者権限の拡張、現在の深い階層から、目に付く分かりやすい場所にデータを移動したり、アップロード操作や一覧表作成の簡略化を行ったりすることが必要だと考えられる。より多くの方に利用していただけるものにしていきたい。

2 情報モラル研究部会

(1) 研究内容

情報機器の進歩は日々めざましく、我々の生活に大いに役立ちその生活スタイルまで影響している。学校教育の現場でも情報機器はその機能を発揮し様々な場面で学習・生活指導に活用されている。その反面、複雑化する機能の影で、メディアを利用した犯罪やいじめが発生しており、情報モラルに関する指導の研究が必要とされている。本部会では市全体の情報モラルの教育の向上を目指すべく、毎年小学校と中学校で情報モラルに関する授業を実践している。また、本年は児童生徒に加え、保護者向けの情報モラル啓発資料（リーフレット）を作成・配布し、各学校での指導に役立てることとした。

(2) 授業実践および情報モラル啓発資料の作成・配布

①吉田西小学校の授業実践

学級活動：「その情報，インターネットにのせてもだいじょうぶ？」 亀井 友美 教諭

1 題材 その情報，インターネットにのせてもだいじょうぶ？

2 本時の狙い

自己紹介のページを作成する体験を通して，安易に個人情報を入力することの危険性を知る。

3 本時の展開

	学 習 活 動	時間	指導上の留意点・支援	評価 (◎)	準備物
前 時	1 「自己紹介のページ」の作成の仕方を知る。 2 「自己紹介のページ」を作成する。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示教材「プロフ例1」を見せ、プロフの概要を知らせる。 ・ 入力欄が決まっていて、その欄の問いに答えていけば、簡単に作成できることを伝える。 ・ 掲示教材を利用し、教員機の仮想携帯画面を使って、作成方法を説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動を自分の席（パソコン）で進める。 ・ すべての項目に答える必要はないことを伝える。 ・ 個人情報の流出に気づいている子どもをチェックしておき、学習活動4で紹介する。 <p>【登録できる内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハンドルネーム ・ 画像 ・ 性別 ・ 年齢 ・ 学校 ・ 住んでいるところ ・ 誕生日 ・ 習い事 ・ 友だちリンク ・ 友だちについて 		「プロフ例1」
本 時	3 スライドを見て，思ったことを発表する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報を書かれたカードを持った小学生が大都市の交差点に立っているという日常生活ではありえない場面を見せ，児童にどう思うかを考えさせる。 ・ 現実では決して行わないことだが，自分でも気づかないうちに，インターネットの中で同じことをしている人がたくさんいるということを伝え，本時への問題意識をもたせる。 		スライド資料

学 習 活 動	時間	指導上の留意点・支援	評価 (◎)	準備物
4 個人情報特定されるとどのような問題が起きるか考える。	15	<ul style="list-style-type: none"> ・「プロフ例1」と、個人情報の扱いを考慮している「自己紹介のページ」を取り上げ、2つの違いを見つけ、その理由を考えさせる。 ・「個人情報」という言葉が児童から挙がらない場合には、個人が特定される情報を「個人情報」といい、「名前」「住所」「電話番号」などがあることを伝える。 ・ワークシート項目2への記入の際には、ワークシート項目1をもとに、不特定多数の人に自分の個人情報が知られるとどのような問題が生じる可能性があるかを考えさせる。 		「プロフ例1」「自己紹介のページ」ワークシート
5 個人情報悪用される例を知る。 ・自分の「自己紹介のページ」が悪用される体験をする。 ・プロフが掲示板で悪用される例を見る。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報を公開すると、勝手に書き換えられたり、悪用されたりする危険性があるとうことを、仮想携帯を使って体験させる。 ・「自己紹介のページ」が書き換えられたのではなく、自分が作成した「自己紹介のページ」の情報をコピーして、悪意のあるものが作られたことを説明する。 ・提示用教材「プロフ例1」の情報が悪用された掲示板を表示し、インターネットに公開した情報は、簡単にコピーできるため、悪用される場合もあることを伝える。 		
6 本時のまとめをする。 ・スライドを見る。 ・教師の説明を聞く。 ・本時のふり返りをする。	15	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントの資料を使って説明する。 ・インターネットは、怖いもの・危ないものではなく、正しく使えばとても役立つものであり、自分の使い方次第なのだということを伝える。 ・もし、インターネットにのせてよいか迷うことがあったら、「玄関に貼っても大丈夫なもの」という基準で判断をすることもできることを伝える。 <p>◎安易な個人情報保護の入力・公開に気を付けなければならないことを理解している。(ワークシート・発言)</p>		スライドワークシート

参考資料

- ・ S k y 株式会社 「情報モラル・疑似体験ツール (SKYMENU)」
- ・ グリー株式会社 「正しく使おう！インターネット 事例に学ぶ情報モラル」

ア 生徒の変容・気づき

- ・この情報はのせて良いものなのかよく考えていた。
- ・他人事で考えている児童が、個人情報を意識して、自分のことのように考えていた。
- ・児童の反応がよく、情報に関するキーワードがたくさんつぶやかれていた。
- ・自分のプロフを書き直す場面で、それぞれ個人で考えたり、友人と相談したりしている様子が見て取れて良かった。→ネットの怖さを感じることができた。
- ・授業の後半にはスライド資料を真剣に見るようになった。その資料は、ネットの悪い面だけでなく良い面もあるという内容で良かった。
- ・自分の個人情報を不正確なものにしてのせればよいというわけではないことにも気づいた児童がいた。→それぞれの情報がネットにのせても大丈夫なのかを考えることができ、児童の変容につながった。

小学校低・中学年用

ゲーム機や携帯電話・スマートフォンなどを使うときのやくそく
(小学校低・中学年向け)

ゲーム機や携帯電話・スマートフォンは、使う時間や場所などのやくそくをきめて使う。

- 1日に使う時間をきちんと定める。
- 遊んで遊ぶ時間をきちんと決めて、遊ぶ場所を決める。
- 夜は友達とのやり取りは9時までにする。一さそく正しい生活は自分だけでなく友達にもしてほしいです。おたがいを守る9時までしましょう。
- 使う前には、おうちのルールをきいてもらい、きかしてきましょう。

知らない人にはじぶんの名前や友達の名前などを、ぜったいにおしえない。

ぜったいダメ! なまえは? 絶対におしえない! 教えて! 教えて!

友達との悪口やうわさを、ネットに書き込まない。

みんなの生活で、友達の悪口を書いたり、いじめたりしないこととじて、けいたい電話のメールやSNSなどのやり取りでも、悪口やうわさをかきこんだしてはいけません。知らないうわさにもきかしてはいけません。

下野市情報教育研究部会

小学校高学年・中学生用

ゲーム機や携帯電話・スマートフォンなどを使うときの約束
(小学校高学年・中学生向け)

ゲーム機や携帯電話・スマートフォンは、使う時間や時間などの約束を決めて使う。

- 1日に使う時間をきちんと定める。
- 遊んで遊ぶ時間をきちんと決めて、遊ぶ場所を決める。
- 夜は友達とのやり取りは9時までにする。一さそく正しい生活は自分だけでなく友達にもしてほしいです。おたがいを守る9時まででやり取りをきかして、明日までおしえてきましょう。
- 使う前には、お家の人にフィルタリングやペアレンタルコントロールをきかしてもらい、きかしてきましょう。

知らない人には自分の名前や友達の名前などの個人情報、絶対に教えない。

絶対ダメ! なまえは? 絶対におしえない! 教えて! 教えて!

名前や住所・電話番号などの個人情報は、知らない人に教えたり、ネットに書き込まない。知らないうわさにもきかして、いじめたりしないこととじて、けいたい電話のメールやSNSなどのやり取りでも、悪口やうわさをかきこんだしてはいけません。知らないうわさにもきかしてはいけません。

友達の悪口やうわさを、ネットに書き込まない。

みんなの生活で、友達の悪口を書いたり、いじめたりしないこととじて、けいたい電話のメールやSNSなどのやり取りでも、悪口やうわさをかきこんだしてはいけません。知らないうわさにもきかしてはいけません。

下野市情報教育研究部会

(3) 成果と課題

- 昨年に引き続き、今回も指導者のオリジナルな指導案で展開した。情報モラル育成資料集の内容が、現在の子どもたちを取り巻く内容とは異なってきている。各学校でも、育成資料を参考にして、SNSなどの現在の児童生徒の実情に合った内容に修正して使う必要がある。指導すべき内容や思い、願いは同じなので、情報モラル育成資料集は積極的に活用し、自校化ができることさらに良い。
- 市内の小・中学校でもSNS等を用いたいじめや、心ない書き込みの問題が発生しているため、各校においての情報モラルの指導は是非進めていきたい。保護者も巻き込んで、学校をあげての取り組みを広げていきたい。
- 情報モラル啓発資料（リーフレット）は、学級活動などで活用していただくとともに、保護者向けの物は、学年・学級懇談時に説明を入れて配布するなど、効果的に活用していただきたい。
- 昨年度と本年度の指導案および資料をWinBird上に掲載した。各学校にて活用していただきたい。「文書」→「全学校」→「情報教育研究部会」→「情報モラル指導資料」